

### 第3回 下田市立学校統合準備委員会

日 時	平成 30 年 8 月 23 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 08		場 所	南豆衛生プラント 2階 会議室	
委 員	氏 名 (役職名)	出欠	氏 名 (役職名)	出欠	
	森本 幸平 (会長)	○	武井 敦史 (副会長)	×	
	山本 雅彦	○	高橋 正志	○	
	鈴木 元一	○	太田 和夫	○	
	竹内 信子	○	山梨 弘樹	○	
	森本 秀樹	○	三浦 寛	×	
	村山 峰夫	○	小川 恵美	○	
	菊池 直樹	○	白谷 純一	○	
	佐藤 禎明	○	鈴木 清文	○	
	渡邊 洋之	○	川崎 昌道	○	
	長池 政和	×	道家 博行	○	
	正田 成彦	○	野田 政哉	○	
	中村 慶子	○	鈴木 めぐみ	○	
	松村 守人	×			
事務局出席者 職 氏 名	教育長	佐々木 文夫	学校教育課長	土屋 仁	
	主査	原 隆史			
発 言 者 名	発言内容及び事務局回答				
課 長	<p>1. 開 会 13 : 30 【 開会とともに会議成立について報告 】</p>				
教 育 長	<p>2. 教育長挨拶 皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、第3回下田市立学校統合準備委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>5月22日に第2回準備委員会が開催されて以降、本委員会の下部組織であります8つの部会において、統合の準備がスタートいたしました。4校統合は私たち教育委員会、また誰にとっても初めての経験であり、手探りの状況で準備を進めております。そこで、本委員会にご出席の校長先生方には、各部会の中心となってお活躍いただき、他の部会と連携しながら準備を進めていただきますようよろしくお願いたします。</p> <p>昨日は下田市立小中学校の先生方、全部で150人程度おりますが、全員にお集まりいただき、中学校再編に関する情報提供等を行わせていただきました。</p> <p>さて、本日の委員会でございますが、新中学校の「校名」「制服」「メモリアル」</p>				

会 長	<p>         といった、新中学校の具体的な検討に入っております。       </p> <p>         本日も、子どもたちのことを第一に考え、新中学校づくりに向けた検討が建設的に進められますよう、何卒よろしく願いいたします。       </p> <p>         また、今後皆様には、地域や学校を代表していただくお立場として、地域や所属・部会の皆様への情報伝達、意見の集約、更には部会の運営や連携といった重責を担っていただき、地域と学校が一体となって様々な検討課題に取り組むことができますようご活躍いただきたいと思います。       </p> <p>         この委員会の基本理念といたしまして、未来の下田を担う人材を育成するための「新しい学校づくり」に向けて、地域と学校が一体となって「オール下田」で取り組むことができますよう、どうぞよろしく願いいたします。       </p> <p> <b>3. 議 事</b> </p> <p>         (1) 新中学校名選定方法について          (2) 新中学校制服等選定方法について          (3) 各校メモリアル関係について       </p> <p>         改めまして皆さんこんにちは。よろしく願いいたします。先ほど教育長の挨拶の中でも触れられておりましたが、昨日、下田市 11 校の先生が全員集まって会合が開かれたということ伺いました。今日の新聞にもその様子が掲載されていて、一生懸命に先生方がお話を聞かれている様子が写真に写っております。学校再編の説明後に「下田の新しい学校づくりとふるさと志向力」と題し、元静岡大学特任教授の山口先生からの講演も行われたそうです。そこでは将来下田に子どもたちが帰ってくるためにどんなことができるのかという講演をされたと聞きました。その中で4つ、先生はキーワードを話されて、その1つ目はテクノロジーの活用できる子に育てなければならない、2つ目は郷土を良く知る子に育てなければならない、3つ目は人間関係力を身につけた子を育てなければならない、4つ目は地域に貢献したい子を育てなければならない、この4つのことを育てることができれば、下田に子どもたちが帰ってくる子が育つとお話をされていたそうです。大変良いお話だったと伺っております。私たちはそのような子どもたちを今回の中学校再編を通じ育てていく必要があります、そういった状況でより良い環境にしていくために様々なことを考えていかなければならないと思っております。       </p> <p>         それでは、これより議事進行をさせていただきます。円滑な議事進行にご協力のほどよろしく願いいたします。       </p> <p>         本日の議事として、「(1) 新中学校名選定方法について」「(2) 新中学校制服等選定方法について」「(3) 各校メモリアル関係について」となっております。       </p> <p>         本件の説明につきまして、事務局から一括にて説明させていただき、その後、各議事に分けて、審議させていただきたいと思っております。       </p> <p>         本件につきまして、事務局より説明をお願いします。       </p>
-----	---

事務局担当	【 (1) ~ (3) の順に資料に基づき、説明 】
会長	<p>ありがとうございました。3つの議事につきまして、説明していただきました。この統合準備委員会には様々な部会組織がありまして、それを取りまとめているのが校長会を主体とします統合推進部会になりますが、この部会でただ今の3つの議事を既にご協議いただいております。統合推進部会としての意見について、部会長である下田中学校の山本委員から発言を求められておりますので、よろしくをお願いします。</p>
山本委員	<p>今、事務局から説明していただきましたが、この3点の内容について、事務局から提示されました資料1から資料3に基づき、市内小中学校11校、全ての校長から意見を集め、集約しました。その結果について、報告をさせていただきます。</p> <p>まず、1点目の校名の選定方法についてです。これに関しましては、公募+統合準備委員会+生徒・保護者・市民などの投票という方法が良いという結論に至りました。公募は、広く多くの意見を取り入れるという意味合いを持ち、また、生徒・保護者・市民などからの意見も参考にするということは、4中学校に平等性を保つという意味合いもあります。公募や生徒・保護者等の意見を取り入れながら、統合準備委員会において新中学校名候補を決定し、市教委に答申する形が良いのではないかと結論になりました。校名については以上になります。</p> <p>2点目、制服及び体操服等の選定方法につきましては、生徒や保護者等の意見を反映し、取り入れていただきたいという結論となりました。時期につきましては、制服と体操服は特にずらすことなく、同じ時期で平成32年4月、統合2年前から揃え、統合初年度から全校生徒が同じ制服、同じジャージで学校生活を送ることができるような配慮をお願いしたいです。これに関しましては、現在の学校規模によって、生徒数が多い少ないという現状があります。少ない学校の子どもたちが、人数が少ないことによって寂しい思いをしないような配慮を踏まえるとやはり同じもので統一していただきたいという学校としての考えもあります。</p> <p>最後、3点目のメモリアルの関係ですが、新中学校に展示するメモリアル関係については、4中学校の校旗、校名板、校章を展示していただきたいです。統合することにより生徒数が増え、新中学校に空き教室を確保するのが難しいと想定されるため、現在のコモンスペースに展示コーナーを設けて、校旗、校名板、校章を展示、その他の卒業記念品については、各学校の判断により、電子データ化したのち、撤去もしくは一部を卒業生に引き取ってもらうなどの方法で処理することが良いという結論となりました。</p> <p>以上、3点について、統合推進部会の協議の結果を報告させていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、事務局及び統合推進部会の意見等を踏まえまして、各議事に分けて、審議させていただきたいと思っております。</p>

	<p>まず「(1) 新中学校名選定方法について」ですが、いかがでしょうか。事前の資料配付文書の中にも記載しておりましたが、事務局としては本日の会議で新中学校名選定方法については、決定したい意向を持っております。委員の皆様で何かご意見等ございますでしょうか。</p>
渡 邊 委 員	<p>ただ今、山本委員から統合推進部会の報告がございましたが、その内容で良いと思います。資料1の(2)の手法になります。</p>
会 長	<p>公募をして、統合準備委員会で候補を絞り、その後、生徒・保護者・市民など投票を行い、その結果を参考に統合準備委員会において、新中学校名候補を決定するという手法になります。他にご意見はいかがでしょうか。</p>
道 家 委 員	<p>そもそも公募を行う必要があるのかという部分になると思うのですが、先ほど統合推進部会の報告の中で平等性ということで広く意見を聞くという内容がありました。遡れば中学と高校との違いがあると思いますが、かつて下田北高と下田南高との統合がございました。皆さんご承知のことだと思いますが、同窓会同士が非常に対立したという経緯もありました。また更に昔の話で、下田東中学校ができたときですが、当時の白浜中と浜崎中が統合された時、更に下田中と朝日中が統合された時に公募のような形をとっていたのかどうか。統合をするには非常に大変な経費、時間がかかります。平等性を保つということはもちろん重要だとは思いますが、また多数票ではなく話し合いで決定するとなっておりますのもっと絞った形でも良いのではないかと思います。また、仮に公募するのであれば、1人1票という形の制限をとる必要があると思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。ただ今、道家委員からは公募する必要はないのではないかとご意見をいただきました。これまでは地域代表、区長さん側のご意見をいただきましたが、保護者側PTA会長さんたちのご意見はいかがでしょうか。</p>
菊 池 委 員	<p>公募をすることにより公平なスタンスをとることができますし、多数票ではなく話し合いにより、統合準備委員会で決定するというところで、突拍子もない学校名などが出てきた場合にそれを排除することができる形になっています。また、今回提示していただいている案はそれほど経費的にもかからないと思います。そういったことを踏まえすと、私は統合推進部会の報告内容に賛成です。</p>
会 長	<p>その他にご意見、いかがでしょうか。</p>
村 山 委 員	<p>統合推進部会の報告内容の公募方法で良いと思いますが、自分の意見を敢えて言わせていただきますと、現在統合準備委員会に出席していただいている各小学</p>

<p>会 長</p>	<p>校PTAの委員は現在6年生の保護者であり、実際、統合に関係する5年生以下の保護者ではありません。そういったところを踏まえすと公募も実際、統合に関係する5年生以下の保護者だけでも良いのではないかという考えもあります。</p> <p>中学校統合に関わる5年生以下の保護者で良いのではないかというご意見でした。様々なご意見をいただいておりますが、他にいかがでしょうか。</p>
<p>野 田 委 員</p>	<p>下田幼稚園PTA会長で幼保こども園保護者代表として、委員として出席させていただいております。色々なご意見があると思いますが、会議冒頭、佐々木教育長さんからのご挨拶で「オール下田」というご発言もあった中で、下田の市民全体で子どもを育てるという観点から考えますと市民、一般という枠を設けることは必要だと思います。自分の意見としては、先ほど菊池委員からもご意見がありました。資料の募集要領案を見ますと一般公募をしたとしてもそれほど金額はかからないのではないかと考える中で、公平性を保つためにも一般公募は行った方が良いのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>ただ今の意見を受け、事務局から何かございますでしょうか。</p>
<p>課 長</p>	<p>事務局としましては、皆様方から頂いたご意見をもとに方針を決定させていただきたいということが第一としてございますので、そういったことを踏まえすと公募させていただければと考えております。また一般市民の方をどうするかというご意見をいただいておりますが、例えば卒業生なども多くいる中でそういった方々からのご意見、学校に対する想いの部分、またインターネットからの応募も可能ですので、市内外問わず広く校名を募集できればという部分で、今回の資料を作成させていただいたところでございます。そういった観点からしますと限定をするということは可能であればせず、経費的な部分につきましても、回収などは例えば応募用紙自体は葉書を使用したものではなく、市の施設や学校などに設置し、活用する予定ですので、それほど多くの費用はかからないものと考えております。しかしながら先ほど道家委員からのご意見で1人1票という部分につきましても、対応をさせていただきたいと考えております。</p>
<p>会 長</p>	<p>委員の皆様から非常に多くの貴重なご意見をいただきましたが、ただ今、事務局からの内容や統合推進部会などの報告を踏まえ、広く公募を行い、統合準備委員会で校名を絞り、再度、児童生徒、保護者や市民などに投票していただいた結果を参考に統合準備委員会で新中学校名候補を決定するという形でよろしいでしょうか。</p>
<p>全 委 員</p>	<p>異議なし。</p>

<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。それでは「(1) 新中学校名選定方法について」の審議を終わらせていただき、続いて、「(2) 新中学校制服等選定方法について」のご意見を伺わせていただきたいと思います。制服については、大きな問題で導入時期ひとつを決定するにしても中々難しいところがあると思います。統合時に中学校1年生から順次揃えるのか、一斉に3学年を揃えるのか、先ほど統合推進部会の報告でもありましたが、平成32年4月の統合2年前から揃えていくのか、という案が示されております。まずはそのことについてご意見を伺えればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>山 梨 委 員</p>	<p>よろしいでしょうか。自分も統合推進部会の一員として話をさせていただいて申し訳ないのですが、制服につきましては、男子の場合は基本的には学ランですよ。女子の場合はほとんどがセーラー服で、極論を言うとあとはボタンやリボンが少し異なっているだけで、統合する際にそこだけ新しいものに変えるということに対応できるのではないかと。ですが、一番問題であるのは、稲生沢中だけがブレザーなので、ここだけは32年度からセーラー服にしていかなければならないという発想だと思います。それともう1つは、体操服に関してですが、これは4校とも異なっているので、32年度から合わせるのであれば、全て統一しなければなりません。極論を言えばそういったことだと思いますので、全てのものを全て決定するという感じでもないような気がしています。例えば、学生服とセーラー服を使っているところ、例えば稲生中などでは、最後まで稲生中指定のボタンやスカーフを使用していたとしても、34年度からその部分だけ変えるだけで対応できるのではないかと、稲生沢中と体操服が大きな問題であると感じています。</p>
<p>道 家 委 員</p>	<p>自分は32年度、統合2年前から導入することは非常に良いことだと思います。学校によっては、当然学年でジャージや体操服の色を変えて、区別する方法をとっていますから、現在の4中学校で新中学校のジャージを着ても何ら問題はないと思います。そして何よりも保護者の負担を少なく、ここを一番に配慮しなければならない部分だと思います。34年度導入ですとまた新しいものを揃えなければならないという形になってしまいます。稲生沢中についても、新中学校のセーラー服なのか、ブレザーなのかわかりませんが、新しい制服に変わったとしても何ら問題ないと思いますし、保護者の負担軽減を一番に考えるべきだと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>保護者の方の負担を踏まえると統合2年前から揃えていって、34年度には3学年が全て揃うという状態にするという形が良いということ、また山梨委員からのご意見ですが稲生沢中以外は、ほとんど同じセーラー服なのだからそんなに問題ではないのではないかとのことでした。</p>
<p>村 山 委 員</p>	<p>これまでのお話を聞きますと女子は最初からセーラー服になってしまうかのよ</p>

	うですが、そうではないですよ。
山梨委員	すいません、あくまでも仮に、極論ということでお話をさせていただきました。
村山委員	今の話の流れで言いますと、稲生沢中の女子の人数的には20人から30人程度ですが、じゃあセーラー服に決まっているのという捉え方をさせていただきます。
佐藤委員	今後、中学校が統合される中で校章をどうするのかという問題になってくると思われます。32年に制服等を合わせることに何ら異議はありませんが、例えば体操服に校章などをデザインする場合もあると思われます。校章も単純には決めることはできず、恐らく公募などを通じて決定していく流れになろうかと思えます。子どもたちから多くのデザイン、非常に良いデザインが出てくると思いますが、まずはそれを決めてあげないと体操服もすぐに決めることが難しいのではないかと思います。ですので、先に校章などを決めることが必要なのではないかと思います。
課長	<p>まず校名が決まって、次に校章等を作っていかなければならないということで、校章につきましても今後、統合準備委員会でその作成方法をどのようにしていくのかという協議、プロの方に依頼するのか、児童生徒のデザインを基にしたものを採用するのかなどを考えていかなければならないと思えます。例えば、ジャージが32年からということになりますと時間的に厳しい部分もございますので、その対応といたしましては、ワッペンタイプにするなどといったことも考えつつ、準備、決定をしていきたいと考えております。やはりイメージ的にはジャージに校章をつけることは想定できます。なるべく2つ同時に間に合えば良いのですが、間に合わなかった場合の対応も考えていかなければならないと考えております。</p> <p>また制服の関係についてですが、詰襟型だったり、ブレザー型だったり、スーツ型だったり、女子についてもセーラー型、ブレザー型、スーツ型という色々なタイプがございます。今後、決定していく中で、保護者の方などに対し展示会などを開催し、価格などが大きなウェイトを占めるものだとは思いますが、その中で候補を決定していきたいという思いがございます。単純に詰襟型とセーラー型が良いということであれば問題ないのですが、やはり色々な選択肢の中で選んでいただくというようなことを事務局としては考えております。</p>
会長	詰襟型とセーラー型が一番、単純で良さそうだと思うけれども、ただそれだけで決めてしまわないで、展示会を開催し、皆さんに見ていただいて意見を伺いたいということですよ。

課長	はい、そのとおりです。色々な制服メーカーさんもございますのでそういった対応をすることも必要なのではないかと考えております。
鈴木(清)委員	すいませんが、先ほど事務局からの説明の中に今年度から市から給付金が支給されるとありましたが、もう一度説明していただいでよろしいでしょうか。
課長	今年4月に「下田市中学校就学準備給付金」ができて、中学校に入学する児童1人につき3万円を支給するものでございます。その3万円の使い道は特に決まっていないのですが、やはり小学校から中学校へ進学にするにあたっての制服であったり、体操服であったり、鞆であったり、そういったものにおよそ10万円先の金額がかかると思われます。それらの負担を少しでも減らそうと今年度卒業する児童から支給するというものでございます。また、この給付金は子育て支援基金を原資として支給させていただき、担当課は教育委員会ではなく、福祉事務所で所管をしております。子育てに対する市の姿勢ということでこの給付金を支給させていただくことになっております。
村山委員	そのような給付をいただけるのであれば、34年4月に制服を変えるという考え方もできるのではないのでしょうか。
道家委員	それでもできるだけ保護者の負担を減らすことを考慮すると早い時期、32年度に揃えるという形にした方がより良いと思います。この給付金は今回の新中学校に合わせた形で支給するものではないのですか。
課長	新中学校とは関係なく、子育てに対する市の姿勢として支給させていただくものになります。
川崎委員	これは今後ずっと支給されるものになるのですか。
課長	はい、時限という形にはなっておりませんので現在のところ、支給されるものだとして認識しております。
会長	他にご意見などございましたら伺いしますが、本日ここで決めることが難しいことだと思っておりますので、本日の準備委員会での意見を部会組織にもう一度、協議をお願いする形で良いのではないかと思います。いかがでしょうか。また他にご意見等、いかがでしょうか。
道家委員	先ほどの校章などの問題もあると思いますが、なるべく早い時期に制服を合わせた方がより良いと思います。



会	長	統合準備委員会としては平成 32 年度に制服などを揃えるという方向性でという内容で、再度、部会組織に協議をお願いする形でよろしいでしょうか。
全	委 員	異議なし。
会	長	ありがとうございます。それでは「(2) 新中学校制服等選定方法について」の審議を終わります。続いて、「(3) 各校メモリアル関係について」、ご意見等ございますでしょうか。
道	家 委 員	メモリアル関係とは異なるのですが、下田中学校以外の 3 校の扱いはどのようになるのか教えていただいてもよろしいでしょうか。
課	長	現在の 4 校が廃校になって、新たに 1 校の中学校を下田中学校の場所に設置する形になります。その他 3 校の扱いとしましては、現在、庁内に公有財産有効活用検討委員会という組織がございまして、その中で検討しております。今後の具体的な内容につきましてはまだ定まっておりません。稲生沢中学校につきましては、ご承知のとおり、市役所庁舎建設予定地の隣接地でございまして、現在のところだと体育館は夜間使用等の問題もあるため、そのまま使用する予定、技術棟については検診室などで使用する予定、校舎につきましては現在検討しているところですが、今後、津波浸水被害等の影響もある中で、国県の公共機関の引き合いもあるという話も聞いております。稲梓中や下田東中などの具体的な話は聞いておりません。稲梓中などですと、今後、伊豆縦貫自動車道 I C の近接地になりますので、そういった形の使い方が考えられるのではないかと思います。申し訳ございませんが具体的に決まっておらず、今、ここで示すことができないのが現状でございます。
道	家 委 員	もし仮に施設が残るならば、メモリアル関係をそのまま保管すればと思いますが、残らないとなれば、各学校の判断で、学校にある程度、委ねる形でよろしいのではないのでしょうか。
課	長	下田東中に関しましては、半分市有地で、半分が借地になっております。細かく場所を言いますと奥の体育館側が市有地、手前の校舎側が借地となっており、そうしますと廃校となったものに借地料を継続して支払い続けることは難しい部分もございますので、処分をしていかなければならないのではないかと思います。よって使用できるものとなりますと稲梓中になると思われれます。
会	長	先ほど統合推進部会で報告していただいた内容に絞って、協議を進めていきたいと思いますが、4 中学校の校旗、校名板、校章のみを展示するという形だった

	かと思ひます。あとのものについては、各学校の判断で、卒業記念作品などをカメラで撮影して、電子データ化したのちに現物については、廃棄または卒業生に引き取ってもらうというものでした。また生徒が多く集まることなどから空き教室などを使用して展示教室のようにするのではなく、コモンスペースのような場所で展示をするという内容でした。今のような案をどう思われるかという形で話し合っていた方が良くと思ひますが、いかがでしょうか。
村山委員	統合推進部会の報告内容で良いのではないかと思ひます。これから入ってくる子どもたちのためにはスペースを多く、置くものを少なくというような形にして見たいものについては、データでまとめるという形で良いかと思ひます。
山梨委員	展示するものについては絞って展示することについては賛成ですが、各学校によって、歴史的なものはかなりあります。まずは歴史的なものをリスト化して、今までの話をベースにしながら、そこから判断を再度していただけないでしょうか。
会長	それぞれの学校の想ひも強いし、これは残したいとかという部分もあると思ひます。各学校のメモリアル関係のものについてリストアップしてもらって、再度協議をするという形でよろしいでしょうか。
全委員	異議なし。
会長	ありがとうございます。それでは、「(3)各校メモリアル関係について」は本日、委員の皆様から頂いたご意見を踏まえ、各校においてどういったものがあるのかなどリスト化し、次回の第4回統合準備委員会で再度、審議させていただきたいと思ひます。
会長	(4)その他 それでは、「(4)その他」に入らせていただきます。 本日、皆様に資料配付させていただきましたが、現在の下田中学校の耐力度調査及び中学校再編に関する基本計画についての報告を事務局から求められております。また、事務局から委員の皆様からのご意見を伺いたいとのことですので、後ほど時間を設けさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。それでは、説明をお願いします。
課長	【 耐力度調査結果及び基本計画(概要版)資料に基づき、説明 】
会長	それでは、ただ今の報告に関しまして、委員の皆様からのご意見を伺いたいと

		<p>と思いますが、いかがでしょうか。</p>
佐藤委員		<p>耐力度調査を実施したということですが、元々は補助が受けられるという想定で話を進められていたかと思われますが、長寿命化計画を作った中でいくらかの補助事業が採択される予定なのでしょうか。</p>
課長		<p>校舎の増築及び改修については、基本計画において12億円程度の事業費ですが、そのうち補助金としては1億3,000万円程度見込んでおります。体育館につきましては、現在の下田中学校の体育館が資格面積より10㎡ほど足りていないという中で、新築した場合でもほんの僅か、あくまでも試算ですが70万円程度の補助しか受けられないという状況です。そういった中で、現在、財源関係につきましては、校舎につきましては適正管理推進事業債、起債と言いまして、要はお金を借りて事業を執行するのですが、借り入れたものに対する元金と利子を払い、後でそれに対する交付税が戻ってくる仕組みで、その交付税がより多くなるような起債を使いたいということで、適正管理推進事業債の場合はその割合が50%になります。一方体育館につきましては、下田市では過疎指定されたことによりまして、過疎対策事業債が使える形になり、費用に対し100%借入し、交付税の割合が70%になります。そういった形でなるべく市単独の費用を使わないような形で財源を調整しているところでございます。補助事業については全部で1億3,000万円程度しかないという状況です。</p>
村山委員		<p>現在の体育館などは、かなり古いものなので今後長い期間使用できるような形、床や屋根の雨漏り等がないような形で、丈夫に改修をしていただきたいです。</p>
課長		<p>当然、屋上防水であったり、不備があるような外壁なども含めた改修を考えておりますので、仮に既存の施設を利用するという形になれば、そういった部分の改修は徹底的に行っていきたいと考えているところです。</p>
村山委員		<p>自分も使用させていただいている立場として、床も結構緩い部分があると思います。子どもの剣道などで使用させていただいているのですが、下田中の体育館はいつも波を打っているような感じになります。下田小学校と比較しますとその傾向が強いのかなと感じています。</p>
会長		<p>いずれにしても長い見通しをもって、改修をしていただきたいということで進めていただきたいということだと思っております。</p>
課長		<p>長寿命化という形で改修をさせていただきます。現在、行政関係におきましては、使える施設はそれを改修して使っていくという流れの中におりますので、今</p>

		<p>回の躯体の耐力度の結果も良いので、長寿命化をするということが非常に有効であると考えております。悪いところについては、徹底的に改修して、今後より長く使用できるような施設にしていきたいと考えております。</p>
道 家 委 員		<p>体育館のバスケットコート2面ということで、大きな体育館になると思いますが、ぜひギャラリーの付いた体育館にしていきたいです。</p>
課 長		<p>基本計画の中では、そこまでの細かい設計については触れられておりませんので、これから基本設計、実施設計と進めて参りますが、当然、我々としましてもそういった部分についても考えておりますので、今後、その中で決めて参りたいです。</p>
道 家 委 員		<p>学校関係はもちろんです、色々な競技がある中で、大会の招聘ができるようになるためには絶対にそういったスペースの確保が必要となってきますのでぜひ考慮をしていただければと思います。</p>
課 長		<p>そういった部分については、統合推進部会の校長先生方からご意見をいただきながら進めて参りたいと考えております。実際に近隣市町の体育館に視察に行ってきたところですが、1回体育館のアリーナの中に入って、観客席に上がるというよりは、外からそのまま観客席に上られるような、大会を開催していて支障が出ないような形で設計をしていきたいと考えております。</p>
会 長		<p>今のご意見などもまた市議会全員協議会の報告の中にも盛り込んでいただきたいと思います。</p>
渡 邊 委 員		<p>基本計画の1ページ、計画の経緯の中に、現在の市の財政状況を考慮すると、校舎や体育館の完全建て替えは難しいため、既存下田中学校の学校施設や補助制度を最大限活用した大規模改修を基本とする新中学校整備計画とすると記載されております。そして、計画の基本コンセプトの2. 室内環境の向上を努めるということが記載されておりますが、どういったことを意味しているのでしょうか。</p>
課 長		<p>1ページの枠の下に2. 室内環境の向上に努めるとして、4つの点が挙げられておりますが、そのことをコンセプトの内容としております。</p>
渡 邊 委 員		<p>ありがとうございます。そしてもう一つ、先ほど課長の説明の中で過疎債とか校舎の改築方法等について、70%あるいは50%という説明をしていただいたのですが、それは交付税という形で起債に対して、後で戻ってくる割合についての説明だったのでしょうか。</p>

課 長	起債でお金を借り入れて事業を行っていくのですが、適正管理推進事業債、要は公共施設の計画を立て適正化していくという部分ですが、そちらの交付税の措置率が50%ということで、例えば年間100万円お返ししますという形だった場合、交付税が50万円戻ってくるという意味になります。また過疎対策事業債につきましては、措置率が70%で元利償還金と利息を払えば、70万円が交付税として措置されるというようなイメージでお考えになられるとよろしいかと思います。
渡 邊 委 員	そうしますと個人的な考え方にはなりますが、A1案がよろしいかと思います。これは現在のテニスコート上に新しい体育館、そのテニスコートが今の体育館の少し南側に移動する形になって、グラウンドに対する支障もあまりないと考えられます。あと現在の財政力、市役所の庁舎建設、焼却場、斎場などの建て替えが控えている中で、また通学費についても4km以上は全額補助と示している中で、今後各学校にクーラー設置などもしていくことなども踏まえますと、現実的にみてもA1が最も良い案であると考えています。以上です。
会 長	他の委員の方で、何かご意見等ございますでしょうか。それでは質疑等ないようですので、続いて、事務局より次回委員会日程等について、お願いします。
事 務 局	【 次回委員会開催日程について、連絡(10月開催予定) 】
会 長	4. 閉 会 15:08 それでは、これを持ちまして、第3回下田市立学校統合準備委員会を終了させていただきます。本日は、ありがとうございました。